



## お知らせ

記者発表資料

令和6年10月11日

配布日時

14:00

### 広島港(宇品地区)で「小型船によるクルーズ旅客輸送に向けた実証事業」を実施 ～小型船によるクルーズ旅客の輸送手段分散化を目指して～

国土交通省港湾局では、クルーズ旅客の利便性や安全性の向上に向けたクルーズ旅客受入施設の適正な配置などを検討するため、「クルーズ旅客の受入機能高度化に向けた検討会」を開催しています。

検討の一環として、クルーズ船寄港地における、陸上の二次輸送(バス・タクシーなど)不足や海洋周辺の観光コンテンツ不足によるオーバーツーリズムの発生に対応するため、「二次交通としての小型船利用促進に向けた旅客動線のあり方」を検討する実証事業を行うこととしているところです。

このたび、広島港(宇品地区)における小型船によるクルーズ旅客輸送に向けた実証事業として、広島港(宇品地区)にあるクルーズターミナル周辺の現地確認を行うとともに、小型船を用いて広島港(宇品地区)→大竹港→似島に至る航路でのトライアル運航を行い、広島県の観光地である下瀬美術館や似島への海上からの旅客輸送の有用性を検証します。

○ 日 時 : 令和6年10月21日(月) 8:30～16:00(現地確認、トライアル運航)

○ 場 所 : 広島港クルーズターミナル(広島県広島市南区宇品海岸3丁目12)  
広島港宇品旅客ターミナル(広島県広島市南区宇品海岸1丁目13)

○ 実証内容 : 【現地確認】

広島港クルーズターミナルの施設配置、広島港クルーズターミナルから小型船が接岸する桟橋までの旅客動線並びに設備を確認し、利便性・安全性・効率性での課題を把握します。

【トライアル運航】

下瀬美術館への移動手段はバスが中心であり、また似島への移動手段は定期フェリーのみとなっています。観光バスの不足や路線バスの混雑等、これから生じうる課題に対して小型船による海上二次輸送の有用性(景観・快適性・所要時間)を検証します。

○ 参加機関 : 中国地方整備局、広島県、広島市、大竹市、一般財団法人みなと総合研究財団(順不同)

#### ※予備日について

● 荒天等の影響で延期となった場合の予備日として、令和6年10月29日(火)を予定しております。

#### ※取材について

- 当日は8:30までに別紙の①箇所へお越しください。
- 広島港宇品旅客ターミナル周辺での現地確認(別紙の①②項目)まで取材可能です。
- 取材時間は8:30～9:25です(※9:25には小型船が出港いたしますので、時間厳守をお願いいたします)。
- ご希望される方は、10月17日(木)18:00までに電子メール([pa.cgr-cruise@mlit.go.jp](mailto:pa.cgr-cruise@mlit.go.jp))で事前登録いただきますようお願いいたします。メールタイトルを「広島港宇品地区実証事業取材申込」とし、メール本文に、①社名②氏名(ふりがな)③連絡先を記載ください。

<問い合わせ先> 中国地方整備局 港湾空港部 TEL:082-511-3928(直通)(平日・昼間)

クルーズ振興・港湾物流企画室長 松浦 慎治 係長 松岡 晋是

<広報担当窓口> 中国地方整備局 港湾空港部 TEL:082-511-3905(直通)(平日・昼間)

計画企画官 福田 俊

## 広島港宇品地区における小型船によるクルーズ旅客輸送に向けた実証事業の概要

### ■現地確認の概要

下記①～⑤を徒歩、車いす併用で実施。

|   | 項目                              | 備考                 |
|---|---------------------------------|--------------------|
| ① | 現地確認の概要説明                       |                    |
| ② | シャトルバス降車場から小型船までの動線確認           | 車いす併用<br>チェックリスト使用 |
| ③ | トライアル運航                         | 車いすによる乗下船を実施       |
| ④ | 広島港クルーズターミナルへの移動                | シャトルバスによる移動        |
| ⑤ | クルーズ船からの下船を想定し、シャトルバス乗り場までの動線確認 | 車いす併用<br>チェックリスト使用 |
| ⑥ | 広島港クルーズターミナルへの移動                | シャトルバスによる移動        |

※クルーズターミナルから小型船が接岸する  
棧橋までの旅客動線並びに設備の現況  
を確認し、効率性・利便性・安全性での課  
題を把握します。



広島港宇品旅客ターミナルでの  
移動確認



シャトルバスを想定した移動確認  
(バスを使用)



広島港クルーズターミナルでの確認

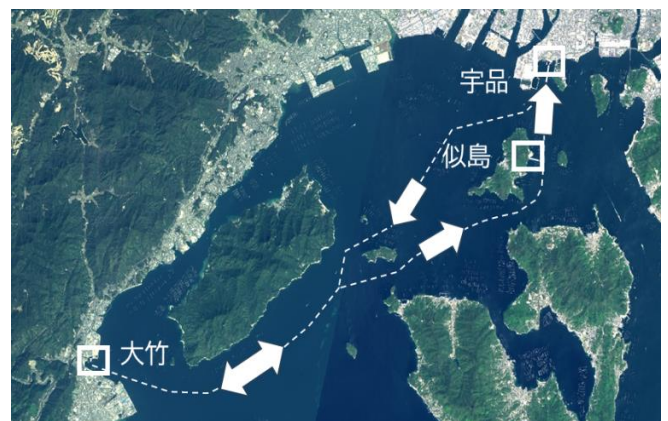
・地理院地図（電子国土Web）を加工して作成

### ■トライアル運航の概要

#### (1) 運航ルート

※広島港宇品地区～大竹～似島～広島港宇品地区

※広島港におけるクルーズ船の発着・寄港に際しては、観光バスの不足や路線バスや在来線の混雑の課題が生じています。そこで、広島港周辺に位置するクルーズ旅客の主要な訪問地を、宇品地区からの海上二次交通（小型船）によって結んだ場合のトライアル運航を行い、小型船活用の有用性を検証します。



・地理院地図（電子国土Web）を加工して作成

#### (2) 使用船舶

| 線愛       | 備考                                                                                                      |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 船名       | CYCLESCHIP LAZULI                                                                                       |
| 全長×全幅×深さ | 17.70m×5.80m×1.70m                                                                                      |
| 総トン数     | 19トン                                                                                                    |
| 航海速力     | 20ノット                                                                                                   |
| 乗船定員     | 75名                                                                                                     |
| 船内設備     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・操舵室 1</li> <li>・機関室 2</li> <li>・客室 1</li> <li>・トイレ 1</li> </ul> |

※(株)瀬戸内クルージングHP より



※(株)瀬戸内クルージングHP より